

「病機」の中医学概念及び臨床応用

上海中医薬大学附属日本校 陳 雷

一、「病機」の概念

- (一) 病機の子義 ●本義：弩弓の発射機関
●主発謂之機 一一《説文解字》

(二) 病機の内容 病理機序とも言い、疾病の発生、発展及びその変化のしくみを指します。

二、「病機」の関連要素

- (一) 体質の盛衰偏性
- 1 正気の盛衰
 - 2 寒熱の偏性
- (二) 病因の種類性質
- 1 外因——六淫外邪
 - 2 内因——精神情緒の異常
 - 3 不内外因——飲食異常・過労・打撲損傷・虫や動物の襲われ

三、「病機」の臨床応用

- (一) 正邪虚実病機
虚証 正気が不足の証候。 実証 邪気が亢盛の証候。
- (二) 陰陽寒熱病機
陰陽失調——陰陽のバランスが崩れる症候です。
・陰盛/陽衰 ⇒ 寒証 (実寒、虚寒)
・陽盛/陰衰 ⇒ 熱証 (実熱、虚熱)
- (三) 臟腑病機
1. 五臟の病機
 2. 六腑の病機
 3. 奇恒の腑の病機
- (四) 気血津液病機
1. 気 機能の失調・運行の失調
 2. 血 血虚・血熱・血溢・血瘀
 3. 津液 不足・停滞
- (五) 経絡病機
1. 盛衰の失調
 2. 運行の失調